

県、建協

1級土木(2次検定)対策講座

来月の受験へ追込み

県と県建設業協会(藤田護会長)が主催する1級土木施工管理技術検定(第2次検定)の対策準備講座が2、3日、鹿児島市の県建設センターであった。22人が受講し、出題傾向や解答のポイント、留意点などを習得。10月6日の本試験に向けて追い込みに入った。同協会が県から受託

している2024年度県建設産業担い手確保・育成・定着促進事業の一環。梅コンサルの梅木時文氏が講師を務め、2日間のカリキュラムで実施した。梅木氏は、施工経験の記述に関するポイントや留意点などを解説。小テストや添削指導も行い、「工事の大小に関係なく、技術的な課



題は必ず存在する。その解決のためにどんな点を検討したのか、採

用した理由等も含めて述べるのが重要」などとアドバイスした。

施工経験記述のポイントを習得。10月6日の本試験に備えた=鹿児島市の県建設センター

講座は5、6日(25人参加予定)にも実施。受講者は10月6日、福岡や沖縄などで行われる本試験に臨む。